

## 令和３年度事業計画

### 1 実施事業方針

令和２年は「新型コロナウイルス」に翻弄された１年であった。内閣府の「景気ウォッチャー調査」では、当該ウイルスが景況感に対して大きな悪材料とされている。

当施設においても、昨年度からコンベンション施設・タワーにおける時短営業や県外利用者の自粛要請等により、稼働率及び入場者数の減少は続いており、事業実施に当たっては、今後もコロナ禍の影響を見極めながら適切に対応していく必要がある。

こうした基本的な考え方のもと、「国際経済交流の推進」については、「山口県日中経済交流促進協会」との連携により、長年培ってきたネットワークを活かしながら、中国における海外ビジネス活動への支援を行うとともに、今後とも県や「やまぐち産業振興財団」等と連携しながら、事業に取り組む。

また、「指定管理事業」においては、令和３年度から第４期がスタートする。地元下関市や、観光コンベンション協会などの関係機関・団体に加えて、コンベンション企画会社とも連携するとともに、新たに導入するＡＲアプリによる案内システムを有効に活用するなど、コンベンション施設やタワーの利用促進・誘客に積極的に取り組む。

特に、本年度は海峡メッセ下関がオープンから２５周年を迎えることから、令和２年度に実施したプレイベントの取組実績を活かしながら記念事業を実施する。

なお、施設管理については、入退場ゲートシステムなど「新たな日常」対応設備も活用し、施設利用者への安全・安心な施設環境の提供にも留意した管理を行う。また、経年劣化により修繕費が増加傾向にあるが、引き続き、計画的な改修を実施する。

### 2 事業計画

#### 1 国際経済交流の推進

(予算額：１６，１３２千円)

国際部において、関係機関と連携し、中国を中心とした国際経済交流の推進に取り組むとともに、県内中小企業の海外ビジネス活動に対する支援業務も展開していく。

##### (１) 貿易相談・海外ビジネス支援

###### ① 貿易相談等

輸出入についての市場調査及び取引斡旋並びに海外進出に関する相談等に応じ、県内中小企業の海外ビジネス活動を支援する。

② 輸出入展示商談会開催の支援

山口県等で構成する「貿易商談会等実行委員会」にメンバーとして参画し、輸出入展示商談会の開催を支援する。

○ 山口県・山東省経済貿易商談会

令和3年11月 / 中国山東省青島市

③ 中国等における県内中小企業の海外ビジネス展開への支援

県内中小企業の海外ビジネス展開を支援するため、山口県等の行政機関が実施する事業と連携し、中国等において、展示会や商談会への参加を支援する。

また、下関地域商社のメンバーとして、地域における海外ビジネス活動に対する協力等を行うとともに、海峡メッセ下関オープン25周年記念事業を開催する。

○ 沖縄大交易会

令和3年11月 / 沖縄県

○ 日韓（青島）輸入商品博覧会

令和3年11月～12月 / 中国山東省青島市

○ FOOD EX JAPAN

令和4年3月 / 幕張メッセ

○ 海峡メッセ下関オープン25周年記念事業

未定 / 海峡メッセ下関

(2) 貿易等に携わる人材の育成・確保支援

県内の貿易関係業務に従事する者を対象として、貿易に関する基礎的な知識の習得や貿易実務の能力向上を図るため、レベル別の「貿易実務セミナー」を開催する。

＜貿易実務セミナーの開催＞

① 基礎編

対象： 貿易実務の経験1年未満及び未経験者

時期： 令和3年8月

② 実践編（輸出・輸入）

対象： 貿易実務の経験原則1年以上の者

時期： 令和3年8月～9月（2回）

③ 貿易実務書類（英語）の解説

対象： 貿易実務の経験原則1年以上の者

時期： 令和3年9月

※①～③の開催場所は全て海峡メッセ下関

### (3) 貿易に関する情報収集・提供

県内中小企業の貿易の促進や海外取引機会の拡大を支援するため、情報の収集や提供に努める。

#### ① 海外進出企業の情報収集

海外に進出する県内中小企業に対して、海外ビジネスに関する効果的な情報を提供するため、「中国（青島）山口県進出企業情報交換会」を開催する。

##### ○ 中国（青島）進出企業情報交換会

令和4年3月 / 中国山東省青島市

#### ② 情報誌「メッセ海外通信」の発行及びインターネットの活用による情報発信

「山口県日中経済交流促進協会」「ジェトロ山口」及び当財団の3団体共同による海外経済に関する情報誌を年4回発行するとともに、財団ホームページに掲載し、海外情報を発信する。

#### ③ 貿易関係機関・団体との連携や情報の収集・提供

県内中小企業への支援を充実するため、「山口県海外ビジネス研究会」、「やまぐち産業振興財団」等の貿易機関・団体はもとより、隣接県市の関係機関との連携を図るとともに、幅広く情報を収集し必要に応じて県内中小企業に情報提供を行う。

## 2 産業交流の推進

(予算額：657千円)

国際経済交流の拠点機能を高めるため、国際化の進展と地域産業の振興に取り組む。

### (1) 地域との連携

大学生に語学体験実習の場を提供し、大学における国際的人材の育成を支援する。

### (2) 海外ネットワーク等を活用した協力・支援

蓄積した海外ネットワークを活用しながら、タワーへのインバウンド誘致に協力するとともに、ジェトロ山口とも連携し貿易振興企業への支援を行う。

## 3 テナントの管理運営

(予算額：82,117千円)

貿易振興に資する財源を確保するため、国際貿易ビル及び山口県貿易ビルの適切な管理運営に努める。

### **（１）国際貿易ビルの管理運営**

国際貿易ビルの適切な管理運営を行うとともに、テナント誘致活動と入居者に対するサービス向上に努める。

また、利用者のニーズに合ったテナント賃貸事業を展開するため、新たにシェアオフィスペースを創設し、国際経済交流の拠点機能の充実を図る。

### **（２）山口県貿易ビルの管理運営**

令和２年度をもってテナント事業を中止した山口県貿易ビルについては、建物の解体や底地購入等、様々な可能性について検討を進めるとともに、適切に管理する。

## **４ 駐車場等の管理運営**

**（予算額：６，８６０千円）**

国際貿易ビルのテナント用駐車場の適切な管理運営を行うとともに、利用者の利便性向上に努める。

## **５ 国際総合センターの管理運営（指定管理事業） （予算額：３２８，６２６千円）**

県有施設の指定管理者として、施設利用者に対する一層のサービス向上や適切な施設の維持管理を行うとともに、県内外に向けたＰＲ活動やイベント等を実施することにより、コンベンションやタワーの誘致・誘客に取り組む。

また、効率的な運営として「新たな日常」対応設備を踏まえた業務の見直しや、コロナ禍における安全・安心な施設環境の提供にも努める。

### **（１）コンベンション施設**

#### **① 誘致活動**

コロナ禍の収束状況を見極めながら、下関観光コンベンション協会等の関係団体と緊密に連携し、国内コンベンションの誘致活動を積極的に行う。

加えて、コンベンション企画会社とアドバイザー契約を締結し、専門のノウハウの提供を受ける。

また「新たな日常」の中にあって、ウェブ会議に対応した会場施設整備などを検討するとともに、安全・安心な施設環境の提供することで新規顧客の開拓及びリピーターに継続的な利用確保に努める。

#### **② 賑わいの創出**

海峡メッセ下関がオープン２５周年を迎えることから、集客を見込める周年事業

を企画するとともに、集客効果が見込まれるイベント等を開催・誘致をすることで、施設の利用促進や賑わい創出を図り、地域貢献に努める。

### ③ コロナ禍における貸館運用

現在、全国的に大規模なコンベンションやイベントの自粛が続いていることから、現状を把握するとともに、加盟する「全国展示場連絡協議会」「国際会議施設協議会」等の連携団体から他施設の情報を積極的に収集し、その時々に沿った適切な運用を行う。

## (2) タワー

### ① オープン25周年記念事業・集客に繋がるイベントの開催と広報

本年7月にオープン25周年を迎えることから、令和2年度に実施したプレイベントのノウハウを活用し、誘客に加え、タワーの認知度もより高められるよう記念事業を開催する。

また、これまで開催したイベントの内容を精査し、より集客に繋がるよう近隣で開催される大規模な祭りや行事、当館での大型コンベンションの開催に併せたイベント等を実施し、回遊性が図れる効率的な集客を図る。

なお、効果的な広報として、若年層に向けてはインスタグラムやフェイスブック等のSNSを効果的に活用するなど、ターゲットを絞ったPR活動も実施する。

### ② 「ゆめたん」によるPRと新たなグッズ製作・地域との連携強化

タワーイメージキャラクター「ゆめたん」を様々なイベントに参加させ、PRに活用するとともに、新たなグッズを製作・販売するなど、キャラクターを活用したタワーファンの獲得と増収を図る。

また、地域との連携強化のため、「タワーサポーター証」の販売に努め、リピーターが恒常的にタワーイベントに参加できる環境づくりを目指し、付随している特典について見直しを検討する。

### ③ AR（拡張現実）システムの活用

新たに導入するARシステムをHPやSNSで広くPRすることにより、タワーへの誘客に繋げる。

### ④ ネットワークの強化

県や下関市はもとより「モアしものせき委員会」や「エキマチ下関推進協議会」「NPO法人地域活性化支援センター」「全日本タワー協議会」など関係団体と連

携し、共同して商品開発やPRの実施などを通じて、さらなるネットワークの強化を図る。

⑤ インバウンド誘致方針について

現在、韓国や中国をはじめとしたインバウンドは激減しているが、今後もコロナ禍の収束状況を注視しながら関連旅行会社へ定期的な訪問を行うなど、積極的な情報収集に努める。

⑥ レストランとのタイアップ等

4階レストランとタイアップし、コンベンション開催時のケータリングの実施や食事とタワー展望のセットプランなど新たな商品を検討し、施設利用者へのサービスの向上を図る。

また、市内の人気カフェ等と連携し、タワー29階を活用した魅力的なイベントを開催する。

⑦ クラウドファンディングを活用した企画の検討

新たな誘客手段として、クラウドファンディングを活用した海峡ゆめタワーならではのイベントや、注目を集める企画を検討する。

### (3) お客様サービスの充実

① 「利用者満足度調査」の継続実施

施設利用者のニーズや利用満足度を継続的に調査分析し、その結果を施設運営に反映させる。

② 職員の資質向上

質の高いお客様サービスを提供するため、職員の資質向上を目的とした外部講師による職員研修を引き続き実施し、外部の研修会にも積極的に参加する。

また、緊急時の危機管理体制が円滑に機能するように、財団が独自に定めた「山口県国際総合センター危機管理マニュアル」を徹底し、職員の防災意識を高める。

③ 第2駐車場の利便性向上

当該駐車場に新たに導入する管理システムにより、当施設利用者の適切な利用に努めるとともに、一般車の利用拡大を図り、増収に繋げる。

#### **(4) 施設の維持管理**

常に施設利用者に対し、安全・安心な施設環境を提供するため、平素から職員各自が新型コロナウイルスを含む感染症予防に努めるとともに、万全な危機管理体制を構築し、効率的かつ適切な維持管理を実施する。

また、経年劣化により修繕費が増加傾向にあるが、引き続き、計画的な改修により、適切な管理に努める。

＜令和3年度大規模修繕＞

- ・ 消火設備改修（CO2ボンベ及び容器弁解放装置取替）
- ・ 非常放送設備改修
- ・ タワー23階デッキゴンドラ設備改修

#### **(5) 指定管理事業計画の進行管理**

第4期指定管理事業計画の適切な進捗管理を行うことにより、計画の着実な実行に努める。

## 令和３年度 主要コンベンション開催予定一覧

| 開催日     | 催 事 名 称                                | 規 模 |
|---------|----------------------------------------|-----|
| 5/22～23 | ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区第 67 回年次大会 i n 下関 | 全国  |
| 6/12～13 | 2021 年 青年・女性建築士の集い 中四国ブロック山口大会         | 中四国 |
| 8/27～29 | 第 32 回日本比較免疫学会学術集会                     | 県内  |
| 10/7～8  | 第 5 回中国地区介護老人保健施設大会 in 山口              | 中国  |
| 10/9～10 | 第 10 回日本ロボットリハビリテーション・ケア研究大会           | 全国  |
| 11/3    | 日本小児歯科学会 第 40 回中四国地方会大会及び総会            | 中四国 |